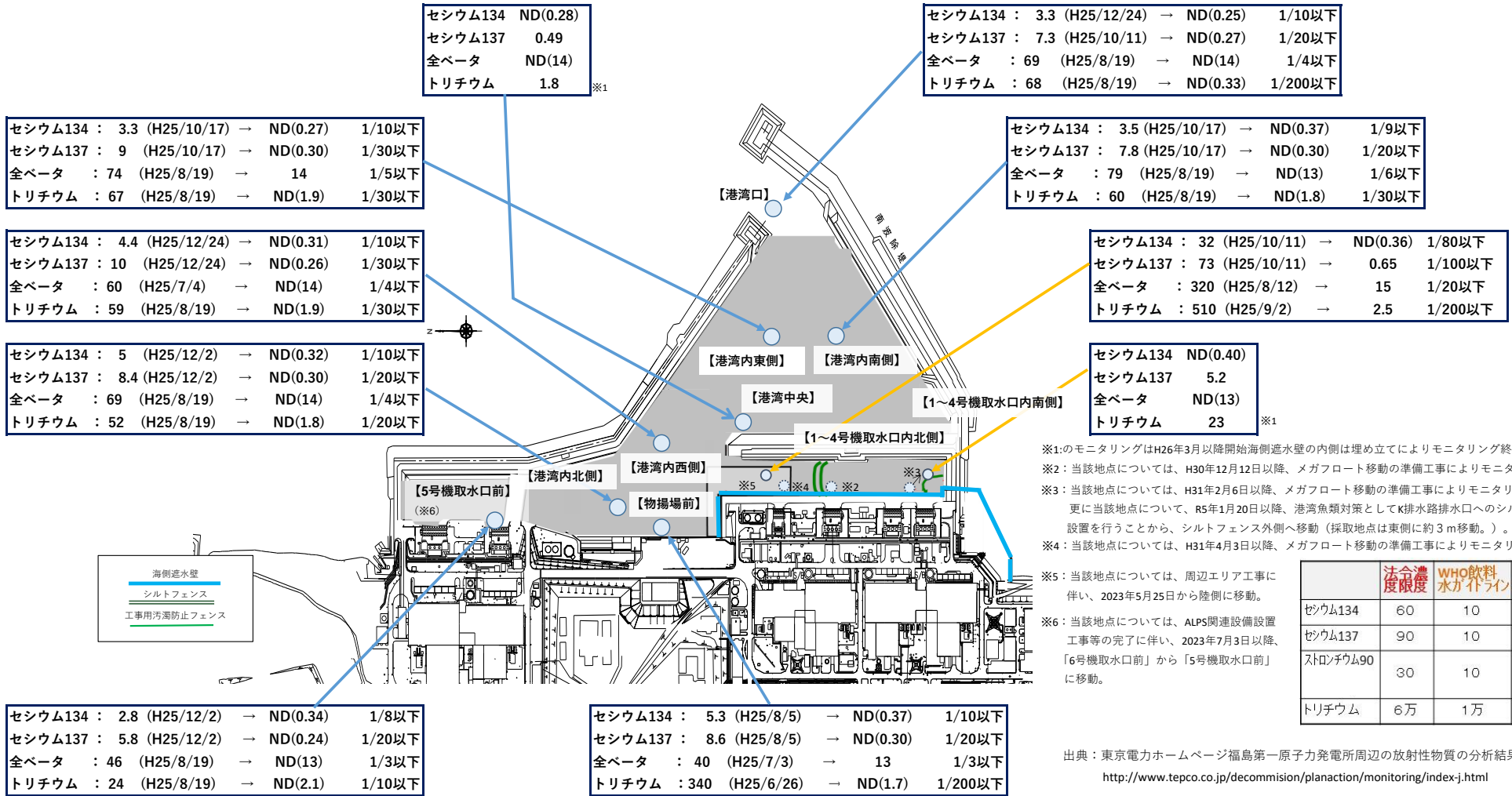


## 港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(3/30-4/20採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和8年4月21日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。



※1: モニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了。  
 ※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。  
 ※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動。  
 更に当該地点について、R5年1月20日以降、港湾魚類対策としてK排水路排水口へのシルトフェンス設置を行うことから、シルトフェンス外側へ移動（採取地点は東側に約3m移動。）  
 ※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。  
 ※5: 当該地点については、周辺エリア工事に伴い、2023年5月25日から陸側に移動。  
 ※6: 当該地点については、ALPS関連設備設置工事等の完了に伴い、2023年7月3日以降、「6号機取水口前」から「5号機取水口前」に移動。

出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果  
<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

# 港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

	法定濃度 限度	WHO飲料 水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 3/18- 4/20採取）

令和8年4月21日までの東電データまとめ

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.27)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.30)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	14

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.30)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18)	→	ND(0.29) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18)	→	1.1 1/5以下

【港湾口南東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.33)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.34)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.33)

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.37)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.38)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18)	→	0.67 1/5以下

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.25) 1/10以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.27) 1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19)	→	ND(14) 1/4以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19)	→	ND(0.33) 1/200以下

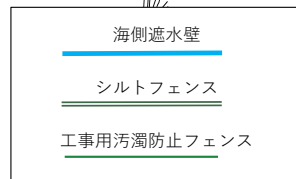
【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: 1.8 (H25/6/21)	→	ND(0.62) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17)	→	ND(0.58) 1/7以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23)	→	14
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26)	→	1.3 1/6以下

【南防波堤南側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.27)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.31)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	0.44

【5,6号機放水口北側】



【南放水口付近(※)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.78)
セシウム137	: 3 (H25/7/15)	→	ND(0.59) 1/5以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23)	→	12
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25)	→	ND(0.33) 1/2以下

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。